



吉岡堅二展

くらしの中の美

企画展示

令和4年9月23日(祝・金) — 11月6日(日)

時間 午前9時—午後5時
 休館日 月曜日(10月10日は開館)、
 9月27日(火)、10月11日(火)、
 11月4日(金)
 会場 郷土博物館1階企画展示室

東大和市立郷土博物館
 東京都東大和市奈良橋 1-260-2
 TEL 042-567-4800 FAX 042-567-4166

吉岡堅二展 暮らしの中の美

9月23日(祝・金) — 11月6日(日)

会場 郷土博物館1階企画展示室
 時間 午前9時—午後5時
 休館日 月曜日(10月10日は開館)、
 9月27日(火)、10月11日(火)、
 11月4日(金)

平成2年に吉岡堅二が逝去したのち、くらししていた邸宅は遺族によって東大和市に寄贈されました。博物館では、邸宅や絵画をはじめ、堅二の収集した骨董品等、残されている数々の資料を整理、調査してきました。その数は数千点にのぼり、現在も調査は継続しています。

創作活動のみならず、邸宅のしつらえや、日々のくらしで使うものに対しても強いこだわりをもって厳選していた堅二。今回の展覧会では、整理された資料の中から、堅二が生活で使用していたもの、絵のモチーフ、旅先で見つけた骨董品、また、これらに関連するスケッチや日本画をご紹介します。堅二のくらしの中の美をどうぞご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、手指の消毒・マスクの着用にご協力をお願いします。
 ※感染状況により、予告なく中止、または会期が変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

関連イベント

旧吉岡家住宅(吉岡堅二の旧宅)の公開
 日時: 10月28日(金)~10月30日(日)、午前10時~午後4時
 会場: 東大和市清水3丁目779番地

国の登録有形文化財「旧吉岡家住宅」として保存されている、吉岡堅二の旧宅を公開します。生前使用していたまま残されているアトリエ、武蔵野の伝統的な農家の家屋を改築した主屋等をご観いただけます。公開期間中のみ、博物館・旧吉岡家住宅間を往復する無料シャトルバスの運行があります。あわせてご利用ください。

交通のご案内

■西武拝島線 東大和市駅より
 オオンモール行(西武バス)で「八幡神社」下車徒歩2分、または青梅車庫行(都営バス)で「八幡神社前」下車徒歩2分、東村山駅行(西武バス)で「奈良橋」下車徒歩7分
 ■ちよこバス(市内循環バス)で
 多摩モノレール 北上台駅より外回り乗車または、西武多摩湖線武蔵大和駅より内回り乗車「郷土博物館入口」下車徒歩2分(本数が少ないのでご注意ください)



裏面
 1:ワヤン、2:《ポビー》(下図)、3:仮面、
 4:《アンカラヒッタイト博物館にて》(素描)、5:《静物》(日本画)、6:ジョッキ、
 7:白磁壺、8:《蘭》(日本画)

表面
 1:フェニキアの壺、2:陶鈴、3:木鈴、
 4:椅子、5:白磁壺、6:ゴブレット、7:
 水差し型陶器、8:椅子、9:タイルテー
 ブル(部分)



東大和市立郷土博物館
 東京都東大和市奈良橋 1-260-2
 TEL 042-567-4800
 FAX 042-567-4166